

解説 浸水対策

安間川流域における 100mm/h 安心プラン

つ ぽ い ひ で ゆ き
坪井 秀之

浜松市上下水道部
下水道工事課長



1 はじめに

浜松市の公共下水道事業は、昭和34年に浜松駅を中心とした市街地（中部処理区）について認可を受け事業に着手しました。その後、昭和57年から昭和62年にかけて、浜名湖周辺に位置する湖東処理区と館山寺処理区、また中心市街地周辺部を一手に担う西遠処理区（流域関連）の供用を開始しました。平成17年7月には天竜川・浜名湖地域の12市町村が合併し、現在、全11処理区（流域関連を含む）の供用を開始しています。

公共下水道による汚水の排水処理は、平成25年度末時点で処理人口普及率79.5%、全体計画区域面積19,940haのうち13,880haの供用を開始し、着実に事業を進めてきました。

一方で、公共下水道による浸水対策事業は、1/5規模の降雨に対し平成25年度末時点で未だ60%程度であり、汚水処理に比べまだまだ遅れているのが実情です。

浸水対策を取り巻く環境は、近年、大きく変化しています。従来の計画降雨を超えるいわゆる「ゲリラ豪雨」が各地で増加傾向にある中で、早期の浸

水被害解消を目指し、ハード対策中心の整備からソフト・自助の促進による被害の最小化を目指した総合的な対策の推進へ転換しています。さらに、限られた財政状況の中で、地区・期間を限定した整備が求められています。

これらを踏まえ浜松市では、平成20年度に「浜松市下水道ビジョン」を策定し、総合的な浸水対策の推進を重要施策として定め、効率的かつ効果的な事業の推進を図っているところです。特に、浜松市では雨水排水の放流先のほとんどは河川であり、河川整備が進んでいない場合には放流規制を受けることが多く、下水道の整備のみでは抜本的な浸水解消とはなり得ないことから、河川整備と連携し、浸水対策事業を推進する必要があります。

2 安間川流域の浸水対策

静岡県と浜松市は、過去に浸水被害が発生している一級河川安間川流域において、平成16年4月に「安間川河川整備計画」を策定し、浸水対策事業を推進してきました。平成25年9月には、「100mm/h 安心プラン」へ登録し事業を進めています。

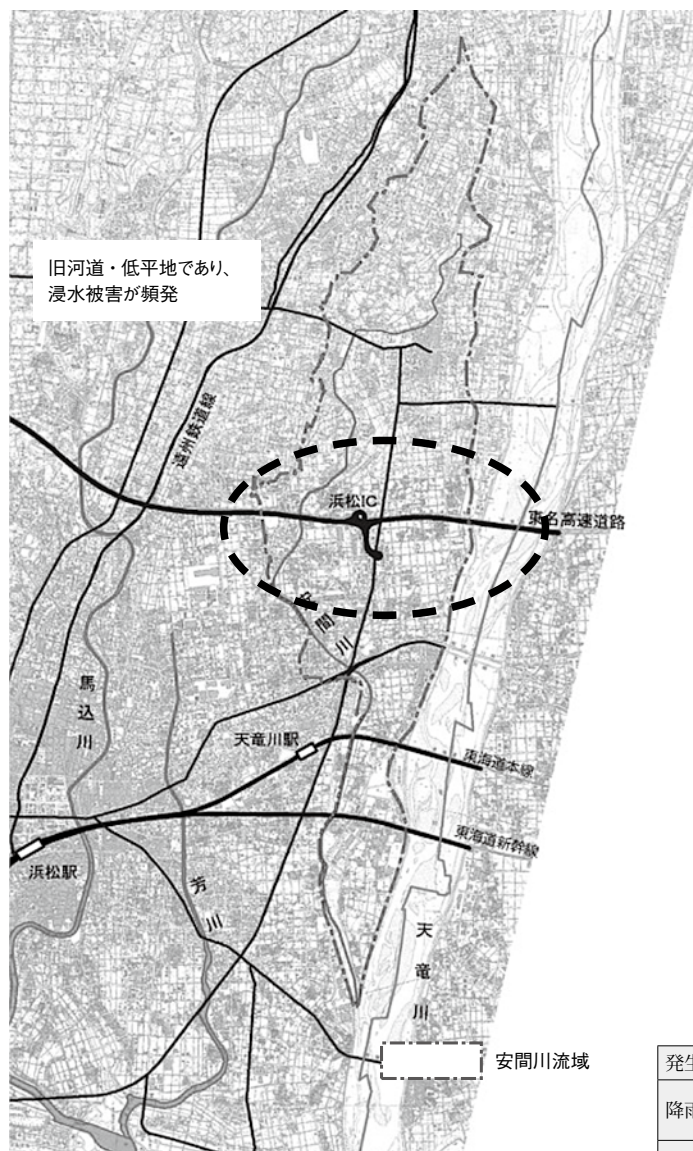
2.1 安間川流域の概要

天竜川水系の安間川は、1675年頃までは天竜川から西へ分派した「小天龍」の一部であり、流域面積約21km²、河道延長約14kmの一級河川です。流域の地形は、すべて平地で、天竜川の氾濫によって自然に形成された自然堤防（微高地）が点在し、この上に集落が發展し、その間の旧河道（低地）が水田に利用されてきました（図-1）。

安間川流域は、大規模な浸水被害が発生した昭和49年以降、12回の浸水被害に見舞われました。これらの浸水被害は、主に東名高速道路より下流域の長上地区を中心に発生しています（写真-1、表-1）。

浸水被害の要因は、河川の流下能力不足のほか、安間川へ流入する雨水排水路が低地盤地区で内水氾濫することが主たる要因となっています。これに加え、もともと農地であった地域の市街化が進み、水田での雨水貯留が減少するとともに、下流にいくほど断面が縮小する農業用水路が雨水排水路として利用されている現状が、被害を深刻化させています。

安間川流域において、浸水被害の発生の防止および軽減を図るためには、



図ー1 流域概要図



写真ー1 浸水被害状況(平成10年9月23日)

表ー1 主な浸水被害実績(安間川流域)

発生日	昭和50年10月7日	平成10年9月23日
降雨量	最大日雨量 : 336mm 最大時間雨量 : 73mm/h	最大日雨量 : 142mm 最大時間雨量 : 57mm/h
被害状況	床上浸水 : 25戸 床下浸水 : 756戸 浸水面積 : 596ha	床上浸水 : 21戸 床下浸水 : 107戸 浸水面積 : 65ha

河道改修等による河川整備のほかに、内水排除を目的とした水路網の再整備が必要不可欠でした。

2.2 安間川河川整備計画の策定

安間川流域における浸水被害の軽減を図るため、平成16年4月に、学識経験者、地域代表および行政が中心となり、「安間川河川整備計画」を策定しました。

本計画における整備方針として、河川の河道改修や遊水地整備等のハード対策のほか、河川情報の提供や危機

意識の向上と適切な土地利用への誘導といったソフト対策や、地域住民との協働で推進する対策等を掲げています。また、内水対策との連携を強化し、河川整備の進捗に応じて内水対策を進めることとしています。

ハード対策では、整備期間を20年間とし、河川は1/10規模の降雨に対し床上浸水の発生防止に努めることを暫定目標と定め、さらに下水道事業等による1/7規模の内水対策と連携すること

により、既往最大である昭和50年10月7日に発生した降雨に対しても床上浸水を概ね解消することとしています。

2.3 「100mm/h安心プラン」への登録

安間川流域における浸水対策の着実な推進のため、平成25年9月に河川管理者である静岡県および浜松市河川部局と協議し「100mm/h安心プラン」へ登録しました。